

小山田中部地区まちビジョン準備会

議事概要

日時 2022年12月9日（金）午後6時～午後8時

場所 大善倶楽部

参加者

準備会	中丸会長、委員7名
町田市 (牛腸氏)	地区街づくり課 2名（田中氏、曳地氏）、農業振興課 1名
街づくりアドバイザー	所、本多

内容

1. 議題

(1) 具体的な活動のアイデア出しについて

町田市より資料の説明が行われた。

参加者よりまちビジョンの構成イメージ図（案）が提示され、他の参加者の了承を得た。

（主な意見）

- ・（市民）都市基盤整備の推進に寄与する住民の具体的な活動を掲載していく必要があると考えている。この点は準備会メンバーの総意と言えるだろう。素案にあるように「見直しの考え方」でふれるのではなく、具体的なことがイメージできる記載の方法を議論していきたい。
- ・（市民）この地区も対象となっている拠点づくりのワークショップの動向についてもこのビジョンでふれられるとよいのではないか。
- ・（市民）この地区に関連があり公表されているまちづくりの計画について、ビジョンの中でもふれていくべきだろう。
- ・（市）市におけるまちビジョンの位置づけをふまえ、どのような記載ができるか庁内調整・検討を進めていく。他の計画の記載については関係者への確認も進めていく。
- ・（市民）この地区のまちづくりについて、住民が夢を持つことができるビジョンを記載していきたい。
- ・（市民）地域経済が循環するしくみでは、もう少し具体的なアイデアを出していきたい。
- ・（市民）町会等と連携して地区内で行われている様々な活動の周知を充実していくことが重要だろう。また、地区の魅力向上につながる様々な活動に、チャレンジしやすいしくみを考えていければよい。

- ・(市民) ワークショップが開催されている里山環境を活用する拠点づくりはこの地区のまちづくりのひとつの契機になるだろう。地区の魅力の整理や情報発信、木材活用などについて、どのようなことが具体的に記載できるか検討を進めていけるとよい。

(2) 方針について

- ・(市民) 方針1はこの地区の特徴を示すものにできるとよい。現在の住民だけでなく、外から来た人も安心して住み続けることができるまちを目指していくことを整理できるとよい。
- ・(市民) 将来の人口構造の変化を見据え、子どもが安心して暮らせる環境を充実していくとともに教育や学習環境を整えるということも、少しでもふれられるとよい。おこしの森は環境教育の拠点にもなると考えている。
- ・(アドバイザー) 具体的な活動とまちビジョンの目標をつなぐ方針を検討していけるとよい。

2・その他

(1) 他地区での事例紹介について

町田市より、他地区において、本準備会の状況を共有したいと提案があり、準備会の了承を得た。

(2) 今後の日程

次回の準備会の日程は、あらためて調整することとなった。